

温州ミカンの施設栽培における枝締めによる着花確保						
〔要約〕 温州ミカンの施設栽培で、側枝（直径 5cm程度）の枝締めを行うと着花量が多くなる。						
長崎県果樹試験場・常緑果樹科	専門	栽培	対象	果樹類	分類	指導
平成6年度長崎県果樹試験場業務報告						

〔背景・ねらい〕

温州ミカンの施設栽培で、樹勢を低下させないで着花を確保するため、40年生「宮川早生」10本を供試し、夏季せん定の有無及び時期が異なる樹について、直径 3mmの整枝用被覆アルミ線を用いて、枝締めの時期及び方法が着花に及ぼす影響を検討した。

枝締めの強さは、被覆アルミ線が枝に食い込む程度とし、各処理枝とも加温前日に除去した。

1月10日に加温を開始し、各処理枝の着花程度を調査した。

〔成果の内容・特徴〕

- ①着花には、主枝の枝締めの有無及び枝締め時期の影響より、せん定期の影響が大きい。
9月せん定の樹で全節数当たり着花率及び発芽節数当たり着花率が小さく、母枝当たり着花数も少ない（表1）。
- ②9月5日せん定樹では、主枝とともにその先端の側枝も枝締めした場合が、着花が多い。
8月9日せん定樹及び無せん定樹では枝締めの部位によって着花には差がない（表2）。

〔成果の活用面・留意点〕

枝径が大きい場合、枝締めの効果が出ないことがある。

[具体的データ]

表1 夏季せん定の時期及び主枝の枝締め時期と着花

せん定期 時 期	枝締め 時 期	発芽節率 (%)	全節数当 着 花 率 (%)	発芽節数当 着 花 率 (%)	母枝当 着 花 数	直花率 ² (%)
8. 9	9. 12	83.5	112.8	135.1	8.9	91.8
	10. 11	86.7	107.8	124.1	8.5	86.5
	11. 11	82.4	112.4	134.2	8.2	85.6
	対 照	78.3	109.2	137.0	7.6	92.6
9. 5	10. 11	66.5	55.4	85.6	3.9	34.2
	11. 11	73.2	62.7	87.4	4.4	43.2
	対 照	77.6	60.4	80.4	4.3	28.6
無せん定	10. 11	79.1	124.7	158.4	7.4	83.9
	11. 11	71.7	111.8	157.0	6.7	81.3
	対 照	66.1	98.4	152.6	6.3	75.3

² 全花数に対する直花の割合

表2 夏季せん定の時期及び枝締め方法と着花

せん定期 時 期	枝 部	締 め ¹ 位	発芽節率 (%)	全節数当 着 花 率 (%)	発芽節数当 着 花 率 (%)	母枝当 着 花 数	直花率 ² (%)
8. 9		主枝+側枝	79.4	97.2	119.7	7.3	98.6
		主 枝	83.5	112.8	135.1	8.9	91.8
		対 照	78.3	109.2	137.0	7.6	92.6
9. 5		主枝+側枝	51.5	71.1	137.7	4.7	73.3
		主 枝	66.5	55.4	85.6	3.9	34.2
		対 照	77.6	60.4	80.4	4.3	28.6
無せん定		主枝+側枝	63.5	88.2	138.7	5.3	90.0
		主 枝	79.1	124.7	158.4	7.4	83.9
		対 照	66.1	98.4	152.6	6.3	75.3

¹ 枝締め時期(8月9日せん定樹:9月12日, 9月5日せん定樹及び無せん定樹:10月11日)

² 全花数に対する直花の割合

[その他]

研究課題名: ハウスみかんの樹勢強化と休眠機構の解明

予算区分: 県 単

研究期間: 平成6年度(平成6年)

研究担当者: 濱口壽幸, 岸野 功

既発表論文等: 平成6年度長崎県果樹試験場業務報告。

残された問題点: 枝締めの程度及び時期についてさらに検討する必要がある。